

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 不動産ビジネス研究所

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 本報告書中

表 題 抗菌性試験

2014 年(平成 26 年)08 月 06 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。



抗菌性試験

1 依頼者

株式会社 不動産ビジネス研究所
東京都港区浜松町1-23-2 山下ビル8階

2 検 体

- 1) FBK抗菌ジェット塗布板 本試験
- 2) 無加工品

3 試験概要

1) 試験片前処理

一般社団法人抗菌製品技術協議会 試験法 3. 抗菌加工製品の抗菌力持続性試験法 (2012年度版) (2)耐光性試験, 区分1(キセノンランプ 60 W/m², 10時間照射)により, 検体の試験片前処理を行った。

なお, 試験片前処理はJNLA登録区分範囲外である。

2) 抗菌性試験

JIS Z 2801: 2010「抗菌加工製品-抗菌性試験方法・抗菌効果」5 試験方法により, 検体の抗菌性試験を行った。

4 試験実施施設

一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所
大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

5 試験責任者

一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所
微生物部 微生物研究課
土屋 禎

6 試験開始日

平成26年08月13日

7 試験結果

結果を表-1に、 U_0 、 U_t 及び A_t の値を表-2に、次式により算出した抗菌活性値を表-3に、試験に用いた試験片、フィルム及び試験菌液の概要を表-4に示した。

$$R = (U_t - U_0) - (A_t - U_0) = U_t - A_t$$

R : 抗菌活性値

U_0 : 無加工試験片[検体2)]の接種直後の生菌数(/ cm^2)の対数値の平均値

U_t : 無加工試験片の24時間後の生菌数(/ cm^2)の対数値の平均値

A_t : 検体1)の24時間後の生菌数(/ cm^2)の対数値の平均値

表-1 試験片の生菌数測定結果

試験菌	試験片 前処理	測 定	試験片	試験片1 cm^2 当たりの生菌数		
				測定-1	測定-2	測定-3
黄色 ぶどう 球菌	耐光性 試験	接種直後	無加工	1.7×10^4	1.2×10^4	1.3×10^4
		35 °C	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
		24時間後	無加工	4.3×10^4	6.8×10^4	7.5×10^4
大腸菌	耐光性 試験	接種直後	無加工	1.1×10^4	1.1×10^4	9.9×10^3
		35 °C	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
		24時間後	無加工	9.4×10^5	7.9×10^5	7.0×10^5

黄色ぶどう球菌 : *Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* NBRC 12732

大腸菌 : *Escherichia coli* NBRC 3972

無加工試験片 : 検体2)

<0.63 : 検出せず

表-2 U_0 、 U_t 及び A_t の値

黄色 ぶどう 球菌	耐光性 試験	U_0		4.141
		U_t		4.780
		A_t	検体1)	<-0.201
大腸菌	耐光性 試験	U_0		4.026
		U_t		5.905
		A_t	検体1)	<-0.201

表-3 抗菌活性値

試験片前処理	抗菌活性値*	
	黄色ぶどう球菌	大腸菌
耐光性試験	>4.9	>6.1

* 抗菌効果：2.0以上

表-4 試験に用いた試験片，フィルム及び試験菌液の概要

区 分		抗菌加工	無加工
試験片	種類	検体1)	検体2)
	大きさ	約5 cm×5 cm	約5 cm×5 cm
	形状	正方形	正方形
	厚み	約3 mm	約3 mm
	清浄化の方法	試験片の裏面についてエタノールを吸収させた脱脂綿で軽く2～3回ふいた後，乾燥	試験片の全面についてエタノールを吸収させた脱脂綿で軽く2～3回ふいた後，乾燥
フィルム	種類	ポリエチレンフィルム	
	大きさ	約40 mm×40 mm	
	形状	正方形	
	厚み	約0.09 mm	
試験菌液の接種量	黄色ぶどう球菌	0.2 mL	
	大腸菌	0.2 mL	
試験菌液の生菌数	黄色ぶどう球菌	$1.1 \times 10^6 / \text{mL}$	
	大腸菌	$7.9 \times 10^5 / \text{mL}$	

以 上

発行責任者：一般財団法人日本食品分析センター 東京本部

レポートセンター 課長 新井 武子

